
BPA選考会

大会第1日目 3月19日(土)

A会場 (1F オブライトホール)

BPA候補演題 I

9:40~10:40

座長 加藤 健太郎 (帯畜大・原虫研)

BPA-01 ヒトの動物由来回虫症血清診断法の鶏への適用

○早田 弥生¹、吉田 彩子²、丸山 治彦²、堀井 洋一郎¹、野中 成晃¹
¹宮崎大・農・獣医寄生虫病、²宮崎大・医・寄生虫

BPA-02 IFNGR1 signaling is involved in development of placental pathology during *Plasmodium* infection

○新倉 保、井上 信一、朝日 博子、小林 富美恵
杏林大・医・感染症学

BPA-03 アフリカ大陸におけるアルテミシニン耐性マラリアの出現

○池田 美恵¹、金子 恵¹、橋 真一郎¹、Mawagali Betty Balikagala¹²、櫻井 美樹³、八代 聖基⁴、橋本 宗明¹、Alex Olia⁵、Anywar Dennis⁶、Auma Mary⁷、Palacpac Nirianne M. Q.⁸、平井 誠¹、片岡 正俊⁴、木村 英作⁸、Aginya Emmanuel⁶、坪井 敬文²、堀井 俊宏⁸、美田 敏宏¹
¹順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学、²愛媛大・プロテオサイエンスセンター、³東京女子医大・国際環境熱帯医学、⁴産総研・健康工学研究部門・バイオマーカー診断研究グループ、⁵群馬大・院医、国際寄生虫病学、⁶グル大、医、⁷セントメアリーズラチョー病院、⁸大阪大・微研・感染症研究部門・分子原虫学分野

BPA候補演題 II

10:40~11:20

座長 有末 伸子 (阪大・微研・分子原虫学)

BPA-04 *Trypanosoma brucei*のグリコソームに局在する(NADP/NAD)型イソクエン酸脱水素酵素の生化学的解析

○王 新穎¹、稲岡 ダニエル 健¹、Balogun Emmanuel O.¹、Ziebart Nicole²、Boshart Michael²、Bringaud Frederic³、北 潔¹
¹東大・医・生物医化学、²Bio center, Ludwig Maximilians Univ., Germany、³Magnetic Resonance Center, Bordeaux Univ., France

BPA-05 Baculovirus-induced innate immunity confers 100% protection against sporozoite challenge in a mouse model

○Emran Talha B.¹、天野 隆之¹、Fitri Amelia¹、Asrar Alam¹、松岡 裕之²、小川 良平³、伊従 光洋¹、吉田 栄人¹
¹金沢大・薬・ワクチン免疫科学、²自治医大・医・医動物、³富山大・医

ワークショップ

大会第1日目 3月19日(土)

B会場 (4F ギャラリー1)

産業動物・食品由来人獣共通寄生虫症 I

14:30~15:30

座長 堀井 洋一郎 (宮崎大・農・獣医寄生虫病)

W-01 食肉衛生と寄生虫：と畜検査の現場から

○松尾 加代子^{1,2}

¹岐阜県食肉衛生検査所、²岐阜大学応用生物科学部

W-02 ブタのエキノコックス –その検出の疫学的重要性–

○八木 欣平¹、浦口 宏二¹、作井 睦子²

¹北海道衛研、²北海道・帯広食肉衛生検査所

W-03 The serological identification of ascarid infections in free-range chickens

○Nguyen Yen T. H.¹、吉田 彩子²、丸山 治彦²、堀井 洋一郎¹、野中 成晃¹

¹Lab. Vet. Parasit. Dis., Grad. Schl. Med. & Vet. Med., Univ. Miyazaki、²Div. Parasitol., Dept. Infect. Dis., Fac. Med., Univ. Miyazaki

W-04 実験感染ニワトリにおける抗トキソプラズマ抗体の産生状況

○高島 康弘¹、川原 史也^{2,3}、永宗 喜三郎²、戸田 なつき¹、鬼頭 克也¹

¹岐阜大・獣医・寄生虫、²感染研・寄生虫、³木鶏にわとり診療舎

W-05 沖縄県におけるヒトのトキソプラズマ感染実態調査と感染要因の推定

○喜屋武 向子¹、高良 武俊¹、岡野 祥¹、永宗 喜三郎²

¹沖縄県衛生環境研究所、²国立感染症研究所

産業動物・食品由来人獣共通寄生虫症 II

15:40~16:40

座長 山崎 浩 (感染研・寄生動物)

W-06 豚の大腸から見出された *Entamoeba* 属原虫の種および遺伝子型の同定と病理組織学的解析

芝原 友幸¹、鈴木 史子²、金森 健太³、村越 奈穂子⁴、小松 徹也⁴、○松林 誠⁵、阿部 仁一郎⁶、
播谷 亮¹、所 正治⁷

¹農研機構・動衛研・病態研、²長崎県・県北家保、³静岡県・中部家保、⁴愛知県・中央家保、
⁵大阪府大・生命環境科学研究科・獣医国際防疫学、⁶大阪市環科研・微生物保健、⁷金沢大・
院医・寄生虫感染症制御学

W-07 Intra-species diversity of flagellates: Zoonosis or not?

○所 正治¹、永元 健啓¹、Tukimin Joko H.¹、荒山 駿介¹、Syafruddin Din²

¹金沢大学・院医・寄生虫感染症制御学、²Eijkman Inst., Mol. Biol., Indonesia

W-08 九州産サバの水揚げ地別寄生アニサキス種の解析ならびに劇症型アニサキス症を発症するアニサキス種の同定

○飛弾野 真也¹、白神 浩平¹、伊藤 秀幸¹、野口 香緒里¹、水上一弘²、村上 和成²、八尋 隆明³、
西園 晃³、神山 長慶¹、林田 京子⁴、小林 隆志¹

¹大分大・医・感染予防医学、²大分大・医・消化器内科学、³大分大・医・微生物学、⁴大分大・
全学研究推進機構・実験動物部門

- W-09 イノシシ猟犬を歩哨動物とした西日本におけるウエステルマン肺吸虫の分布状況調査
○入江 隆夫^{1,2}、山口 洋平³、Doanh Pham N.⁴、波部 重久⁵、堀井 洋一郎^{2,3,6}、野中 成晃^{2,3,6}
¹北海道立衛研・感染症・医動物、²宮崎大院・医獣・獣医寄生虫病、³宮崎大・農・獣医寄生虫病、⁴Dept. of Parasitol., Inst. of Ecol. and Biol. Resources, Vietnam Academy of Sci. and Technol.、⁵福岡大・医・微生物免疫、⁶宮崎大・産業動物防疫リサーチセンター
- W-10 シカ肉の生食が原因と推定される肺吸虫症に関する調査
○杉山 広¹、柴田 勝優¹、川上 泰²、御供田 睦代³、森嶋 康之¹、山崎 浩¹
¹感染研・寄生動物、²麻布大・生命・環境科学、³鹿児島県環境保健センター

一般講演

大会第1日目 3月19日(土)

A会場 (1F オブライトホール)

感染機構・寄生適応：寄生虫と「膜生物学」I

13:00~13:48

座長 熊谷 貴 (東京医科歯科大・院・国際環境寄生虫病)

1A-01 *Balamuthia mandrillaris*の捕食運動

○原 樹¹、東 龍平²、岡山 聡子³、太田 啓介³、中村 桂一郎³

¹久留米大・医・感染医学・真核微生物、²久留米大・医・電子顕微鏡、³久留米大・医・解剖・顕微解剖・生体形成

1A-02 赤痢アメーバ原虫におけるAtg5-12/16複合体の同定

○津久井 久美子¹、宮本 絵梨^{1,2}、渡辺 菜月¹、柴田 久美子¹、野崎 智義^{1,2}

¹感染研・寄生動物、²筑波大学・院・生命環境

1A-03 マラリア原虫感染赤血球における血清タンパク質の取り込みメカニズムの解明

○東岸 任弘、エデューラ ジョティー、堀井 俊宏

阪大・微研・分子原虫学

1A-04 Malaria parasite RhopH proteins contribute to channel-mediated nutrient uptake by infected red blood cells

○伊藤 大輔、Desai Sanjay A.

Lab. Malaria Vector Research, NIAID, NIH

感染機構・寄生適応：寄生虫と「膜生物学」II

13:48~14:36

座長 西川 義文 (帯畜大・原虫研)

1A-05 ETRAMPファミリーは赤血球期マラリア原虫における膜輸送の指標となる

○入子 英幸¹、大槻 均²、橋 真由美³、石野 智子³、鳥居 本美³、坪井 敬文⁴、福本 宗嗣²

¹神戸大院・保健・国際保健、²鳥取大・医・医動物学、³愛媛大・PROS・寄生病原体学、⁴愛媛大・PROS・マラリア研究

1A-06 タンパク質輸送機構に関連すると考えられる熱帯熱マラリア原虫デンスグラニュールタンパク質PV1の機能解析

○森田 将之¹、高島 英造¹、長岡 ひかる¹、伊藤 大輔²、バーナード カノイ¹、中田 貴敬¹、西莉菜¹、飯村 忠浩³、鳥居 本美⁴、坪井 敬文¹

¹愛媛大・プロテオサイエンスセンター・マラリア研究部門、²米国国立アレルギー・感染症研究所、³愛媛大・プロテオサイエンスセンター・バイオイメージング部門、⁴愛媛大・プロテオサイエンスセンター・寄生病原体学部門

1A-07 マラリア原虫のRab5b GTPaseは寄生胞膜の感染赤血球側に運ばれる

海老根 一生²、平井 智浩^{1,3}、平井 誠⁴、坂口 美亜子⁵、矢幡 一英⁶、金子 修⁶、野崎 智義^{1,3}、○中野 由美子¹

¹感染研・寄生動物、²東大・院・理、³筑波大・生命環境科学、⁴順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病、⁵長崎大・熱研・電顕室、⁶長崎大・熱研・原虫学

1A-08 トリパノソーマにおける小胞体選別輸送システムの解析

○二瓶 浩一、高橋 良和、梅沢 洋二、柴崎 正勝
微化研

感染機構・寄生適応：細胞侵入

14:45~15:21

座長 入子 英幸 (神戸大院・保健・国際保健)

1A-09 マラリア原虫スポロゾイトの唾液腺侵入における Apical sushi protein (ASP) の機能解析

○松岡 和弘^{1,2}、野崎 守^{1,2}、徳永 順士^{1,2}、橋 真由美^{1,2}、坪井 敬文³、鳥居 本美^{1,2}、石野 智子^{1,2}
¹愛媛大・PROS・寄生病原体学、²愛媛大院・医・分子寄生虫学、³愛媛大・PROS・マラリア研究

1A-10 ネズミマラリア原虫赤血球侵入リガンドEBL領域4の機能解析

○大槻 均¹、菅井 千明¹、近藤 陽子¹、入子 英幸^{1,5}、石野 智子²、金子 修³、坪井 敬文⁴、鳥居 本美²
¹鳥取大・医・医動物、²愛媛大・プロテオサイエンスセンター・寄生病原体学部門、³長崎大・熱研・原虫学、⁴愛媛大・プロテオサイエンスセンター・マラリア研究部門、⁵神戸大院・保健・国際保健

1A-11 赤血球侵入メカニズムの解明に向けた熱帯熱マラリア原虫メロゾイト分子間相互作用解析

○高島 英造、今川 瑞季、長岡 ひかる、坪井 敬文
愛媛大・PROS・マラリア

感染機構・寄生適応：マウレル裂の生物学

15:21~15:57

座長 案浦 健 (感染研・寄生動物)

1A-12 マウレル裂プロテオミクスによる熱帯熱マラリア原虫赤血球寄生メカニズムの解析

○高野 量¹、秦 裕子²、竹前 等¹、尾山 大明²、加藤 健太郎¹
¹帯畜大・原虫研、²東大・医科研・疾患プロテオミクス

1A-13 マラリア原虫感染赤血球内分泌タンパク質FJ180の生化学的解析

○中田 貴敬、高島 英造、森田 将之、カノイ バーナード、坪井 敬文
愛媛大・PROS・マラリア

1A-14 熱帯熱マラリア原虫SURFIN_{4.2}の細胞内領域はマウレル裂から赤血球表面への輸送に必要である

○加賀谷 渉^{1,2}、宮崎 真也²、矢幡 一英²、太田 伸生¹、金子 修²
¹東京医科歯科大・院・国際環境寄生虫病学、²長崎大・熱研・原虫学

感染機構・寄生適応：転写・翻訳

16:10~16:58

座長 松崎 素道 (東大・院医・生物医化学)

1A-15 マラリア原虫独自の転写因子PREBPタンパクの活性化部位の探索

○駒木-安田 加奈子、狩野 繁之
国立国際医療研究センター、研究所

1A-16 ChIP-seq法を用いたマラリア原虫スポロゾイト期の転写因子AP2-Spの全標的遺伝子の同定

○金子 伊澄、岩永 史朗、加藤 知美、油田 正夫
三重大学大学院医学系研究科 病態解明医学講座 医動物・感染医学

1A-17 マラリア原虫の生殖母体への分化に関わるゲノムワイドな転写抑制

○岩永 史朗、金子 伊澄、加藤 知美、油田 正夫
三重大・医・医動物

- 1A-18 トリパノソーマ14-3-3ノックダウン細胞における翻訳系蛋白の局在
○井上 雅広、安田 幸一
久大・医・真核・感染

B会場 (4F ギャラリー 1)

感染機構・寄生適応：手法開発

13:00~14:12

座長 岩永 史朗 (三重大・医・医動物)

- 1B-01 Long-term continuous culture of *P. vivax* blood stage -Design and initial testing of transfection plasmids-
○Thawnashom Kittisak¹、Xangsayarath Phonepadith¹、金子 美穂¹、竹田 美香¹、Jenwithisuk Rachaneeporn²、Nguitragool Wang²、Rachaphaew Nattawan²、Roobsoong Wanlapa²、Sattabongkot Jetsumon²、Adams John H.³、金子 修¹
¹長崎大・熱研・原虫、²マヒドン大・熱帯医、³南フロリダ大・公衆衛生
- 1B-02 Establishment of a stable transfection system for *Babesia ovata* and its application for functional gene studies
○ハキミ ハッサン¹、山岸 潤也²、白藤-梅宮 梨可³、外川 裕人¹、金子 修¹、河津 信一郎⁴、麻田 正仁¹
¹長崎大・熱研・原虫学、²北大・人獣セ・国際協力、³帯畜大・原虫研・ゲノム機能、⁴帯畜大・原虫研・先端予防治療
- 1B-03 貝類寄生虫パーキンサスのオルガネラ局在タンパク質を標的とした遺伝子導入における薬剤選択系の確立
○坂本 寛和、北 潔、松崎 素道
東大・院医・生物医化学
- 1B-04 ネズミマラリア原虫におけるTet-Onによる遺伝子コンディショナルノックアウト法の開発
○麻田 正仁、外川 裕人、矢幡 一英、金子 修
長崎大・熱研・原虫学
- 1B-05 *Plasmodium yoelii* 遺伝子を標的としたテトラサイクリン発現誘導システムの確立
○外川 裕人、麻田 正仁、矢幡 一英、金子 修
長崎大・熱研・原虫学
- 1B-06 Phenotypic, Genotypic, and Transcriptomic Characterisation of the *Plasmodium vinckei* clade of Rodent Malaria Parasites
Abhinay Ramaprasad^{1,2}、Hussein Abkallo²、Arnab Pain¹、○Culleton Richard²
¹Biol. and Environ. Sci. and Eng. Div., King Abdullah Univ. of Sci. and Tech.、²長崎大・熱研・病理マラリアユニット

C会場 (4F ギャラリー2)

分類・進化・生活史・生態・疫学：進化と感染

13:00~14:12

座長 所 正治 (金沢大・医・寄生虫)

- 1C-01 フォルニカータ生物群の基部から分岐する新奇嫌気性生物PAP020株のミトコンドリア様オルガネラの代謝機能の推測
○矢崎 裕規¹、白鳥 峻志¹、久米 慶太郎¹、橋本 哲男¹、石田 健一郎¹、稲垣 祐司^{1,2}
¹筑波大学大学院生命環境科学研究科、²筑波大学計算科学研究センター
- 1C-02 フィリピンおよび日本のコウモリから検出されたクリプトスポリジウムおよびアイメリアの新規ジェノタイプ
○村越 ふみ¹、小山 憲司²、大松 勉³、谷口 怜⁴、宇根 有美⁵、赤坂 卓美⁶、堀内 雅之²、Masangkay Joseph⁷、久和 茂⁸、加藤 健太郎¹
¹帯畜大・原虫研、²帯畜大・家畜病理学、³東京農工大、⁴感染研・ウイルス第1部、⁵麻布大・獣医病理学、⁶帯畜大・環境生態学、⁷Univ. of the Philippines Los Banos、⁸東大・実験動物
- 1C-03 ホルマリン固定試料と遺伝子解析法を用いたウシコクシジウムの種別検出および腸管内感染部位の同定
○金森 眞紀¹、曾地 雄一郎²、西 清志²、多田 千佳¹、福田 康弘¹、中井 裕¹
¹東北大学大学院農学研究科、²宮城県仙台家畜保健衛生所
- 1C-04 幼雛における*Eimeria tenella*弱毒株の作出および病理組織学的解析
○松林 誠^{1,2}、川原 史也³、八田 岳士⁴、山岸 潤也⁵、磯部 尚⁶、寺本 勲²、金子 明²、笹井 和美⁷、北 潔⁸、辻 尚利⁴
¹大阪府大・生命環境科学研究科・獣医国際防疫学、²大阪市大・医学研究科・寄生虫、³木鶏にわとり診療舎、⁴北里大・医・寄生虫、⁵北大・人獣センター、⁶農研機構・動衛研、⁷大阪府大・生命環境科学研究科・獣医内科学、⁸東大・院医・生物医化学
- 1C-05 日本におけるトキソプラズマの分子系統と病原性
○永宗 喜三郎^{1,2}、福本 隼平^{1,3}、山野 安規徳^{1,3}、喜屋武 向子⁴、正谷 達膳⁵、松尾 智英⁵、松井 利博⁶、村上 麻美⁷、高島 康弘⁷、佐倉 孝哉¹、松原 立真^{1,2}
¹国立感染研・寄生動物、²筑波大・生命環境系、³筑波大・院・生命環境科学、⁴沖縄県衛生環境研、⁵鹿児島大・共同獣医、⁶清泉女子大、⁷岐阜大・応用生物
- 1C-06 エンテロモナスの種内多型解析
○永元 健啓¹、Tukimin Joko H.¹、所 正治¹、Syafruddin Din²
¹金沢大学・院医・寄生虫感染症制御学、²Eijkman Inst., Mol. Biol., Indonesia

分類・進化・生活史・生態・疫学：感受性と多様性

14:20~15:20

座長 濱野 真二郎 (長崎大・熱研・寄生虫)

- 1C-07 日本住血吸虫ミラシジウムの侵入と発育における感染感受性からみた、*Oncomelania* spp.各亜種が示す防御機構の特徴
○小笠原 啓祐¹、下河原 理江子¹、熊谷 貴¹、日野 明紀菜¹、二瓶 直子²、齋藤 康秀¹、太田 伸生¹
¹東医歯大・医・寄、²国立感染研
- 1C-08 日本住血吸虫中間宿主貝 *Oncomelania hupensis* 亜種間の全ミトコンドリアゲノム配列を用いた系統解析
○日野 明紀菜¹、菊地 泰生²、熊谷 貴¹、齋藤 康秀¹、下河原 理江子¹、丸山 治彦²、太田 伸生¹
¹東京医科歯科・医・国際環境寄生虫、²宮崎大・医・寄生虫

- 1C-09 日本におけるヒメモノアラガイの分子系統学的解析
 ○尾針 由真^{1,2}、林 慶^{1,2}、福森 啓晶³、松尾 加代子⁴、板垣 匡^{1,2}
¹岐阜大院・連合獣医、²岩手大・農・獣医寄生虫、³東大・大気海洋研、⁴岐阜県食肉衛生検査所
- 1C-10 寄生性線虫 *Meteterakis* 属の東アジア島嶼域における生物地理学的研究
 ○佐田 直也
 京都大学大学院 理学研究科 動物系統学研究室
- 1C-11 ヒトおよびイヌに感染している糞線虫 (*Strongyloides stercoralis*) の多様性
 ○長安 英治¹、Myo Pa Pa Thet Hnin Htwe Aung²、日野 明紀菜³、Hortiwakul Thanaporn⁴、
 菊地 泰生¹、吉田 彩子¹、Wah Win Htike²、丸山 治彦¹
¹宮崎大・医・寄生虫、²Dept. of Microbiol., Univ. of Medicine 1 Yangon、³医科歯科大・院・
 国際環境寄生虫病、⁴Prince of Songkla Univ.

分類・進化・生活史・生態・疫学：形態と分類

15:30~16:30

座長 記野 秀人 (浜松医大・医・感染症)

- 1C-12 ビワヨシノボリに寄生していた新属新種の単生類
 ○小川 和夫¹、伊藤 直樹²
¹目黒寄生虫館、²東大・院農・水圏生物
- 1C-13 滋賀県内に生息する両棲爬虫類の外部・内部寄生虫の記載
 ○坪内 智義
 滋賀県立大・環
- 1C-14 飼育稀少ウミワシ類から見出された寄生蠕虫
 牛山 喜偉¹、平山 琢郎²、角田 真穂³、渡邊 有希子³、齊藤 慶輔³、吉野 智生⁴、○浅川 満彦¹
¹酪農学園大・獣医・感染病理、²アンドレ動物病院、³猛禽類医学研究所、⁴釧路市動物園
- 1C-15 鳥取市において捕獲されたイノシシの寄生虫および *Necator suillus* について
 ○賀山 千尋、奥 祐三郎、金 京純
 鳥取大・農・寄生虫
- 1C-16 寄生性扁形動物の種概念 (私見) : *Echinococcus Rudolphi*, 1801 と *Polystoma Zeder*, 1800 の問題種を例として
 ○中尾 稔
 旭川医大

D会場 (4F 大会議室)

疾病対策：抗寄生虫薬 I

13:00~14:00

座長 駒木-安田 加奈子 (国際医療センター・研究所)

- 1D-01 アミノ酸摂取量の調整によるマラリア制御の可能性
 ○齊木 選射¹、長尾 健児²、石上 盛敏³、福本 晋也⁴、クルドゥスッドゥ スリヴィッチャ⁵、
 櫻井 達也¹、坂内 慎²、狩野 繁之³、嘉糠 洋陸^{1,6}
¹慈恵医大・実動研、²味の素・イノベーション研、³国立国際医療センター研・熱帯医学マラリア、
⁴帯畜大・原虫病セ、⁵マヒドン大学・熱帯衛生学、⁶慈恵医大・熱帯医学

- 1D-02 *In vitro*におけるシコニン及びコンゴボロロメタノール抽出物のクロロキン・メフロキン耐性マ
ラリア株(Dd2)への効果の検討
○チェリフ マハムド サマ¹、平山 謙二¹、ファイ グエン ティエン²、ロサボーン チャントラ²、
水上 修作¹、ヴァング キルキチ²、マテンゲ ピターソン ギトンガ¹、マン ダオ フイ¹、アヴェ
ニド エレオノル フンダン¹、柳 哲雄³
¹長崎大学熱帯医学研究所 宿主病態解析部門 免疫遺伝学分野、²臨床開発学分野、³ナシヨナ
ルバイオリソースプロジェクト
- 1D-03 トキソプラズマに対するタイ産コショウ科植物由来エタノール抽出物の抗原虫効果
○アポーン リーソンブン¹、Sookruetai Boonmasawai²、下田 直美¹、西川 義文¹
¹帯畜大・原虫研、²マヒドー大・獣医
- 1D-04 新規抗マラリア薬としての5-アミノレブリン酸
○北 潔¹、鈴木 重雄¹、小松谷 啓介¹、新倉 保²、小林 富美恵²、田中 徹³、中島 元夫³、高橋
究³
¹東大院・医・生物医化学、²杏林大・医・感染症、³SBIファーマ
- 1D-05 経皮吸収型抗マラリア薬の開発研究
○金 恵淑、河本 理沙、榎田 真千子、綿矢 有佑
岡山大・薬・国際感染症制御

疾病対策：抗寄生虫薬Ⅱ

14:10~15:10

座長 彦坂 健児（千葉大院・医・感染生体防御）

- 1D-06 Metal nanoparticles demonstrated anti-proliferative activity against *Toxoplasma gondii* in vitro
○Oluyomi S. Adeyemi, Kentaro Kato
National Research Center for Protozoan Diseases, Obihiro University of Agriculture &
Veterinary Medicine
- 1D-07 熱帯熱マラリア原虫のミトコンドリア型Type II NADH dehydrogenaseの生化学的解析及び
新規阻害剤の探索
○大橋 拓未¹、稲岡 ダニエル 健¹、小松谷 啓介¹、Balogun Emmanuel O.¹、Eri Amalia¹、山
下 哲生²、志波 智生³、佐藤 暖³、野崎 智義⁴、原田 繁春³、北 潔¹
¹東京大・医・生物医化学、²香川大・医、³京都工繊大・工芸科学、⁴国立感染研究所
- 1D-08 *Trypanosoma brucei*のシアン耐性キノール酸化酵素阻害剤の結合反応速度解析
○稲岡 ダニエル 健¹、池上 眞由美²、志波 智生³、柘植 千明¹、趙 理海¹、高橋 元³、上田 慧³、
城戸 康年¹、バログン エマニュエル¹、坂元 君年⁴、井原 正隆⁵、津吹 政可²⁶、高橋 万紀⁶、ムー
ア アンソニー⁷、齋本 博之⁸、原田 繁春³、北 潔¹
¹東大・医・生物医化学、²星薬大・機器センター、³京都工繊大・応生学・構造生物学、⁴弘前大・
農・生命科学・分命科・生化学、⁵星薬大・原虫疾患研究室、⁶星薬大・医薬品化学・生体分
子有機化学、⁷サセックス大学・生化学生物医学、⁸鳥取大・工・物質工・化学生物応用工学
- 1D-09 Ribavirin 5'-monophosphateによる *Trypanosoma brucei* 5'-GMP還元酵素の阻害および
抗原虫作用
○岡田 哲也¹、別所 知明¹、富山 愛¹、今村 章¹、大谷 拓也¹、桑村 充²、西村 和彦³、石橋 宰¹、
乾隆¹
¹大阪府大・生命環境・生体高分子機能学、²大阪府大・生命環境・獣医病理学、³大阪府大・
生命環境・毒性学、⁴北大・薬

- 1D-10 Sargaquinoidatic acidのリーシュマニア原虫ミトコンドリア呼吸鎖複合体IIに対する阻害活性
○長田 康孝¹、三條場 千寿¹、木村 純二²、二橋 望³、稲岡 ダニエル 健³、北 潔³、後藤 康之¹、
松本 芳嗣¹
¹東大・院農・応用免疫学、²青学大・院・理工学、³東大・院医・生物医化学

疾病対策：抗寄生虫薬Ⅲ

15:20～16:20

座長 奈良 武司（順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病）

- 1D-11 TAO (Trypanosome Alternative Oxidase) を標的としたアフリカトリパノソーマ症（睡眠病）
の新規薬剤の開発
○胡 媛¹、柘植 千明¹、稲岡 ダニエル 健¹、齋本 博之²、北 潔¹
¹東京大・医・生物医化学、²鳥取大・工・応用工学
- 1D-12 *Trypanosoma brucei*の酢酸および脂質代謝における鍵酵素 Acetyl-CoA synthetase のX線
結晶構造解析
○鈴木 重雄¹、稲岡 ダニエル 健¹、Balogun Emmanuel O.¹、Pauluk Adriane²、Rocha Josmar R.²、
志波 智生³、原田 繁春³、Bringaud Frederic⁴、北 潔¹
¹東大・院医・生物医化学、²Inst. of Chem. of Sao Carlos, Univ. of Sao Paulo、³京工繊・工・
応用生物工学、⁴Cent. of Magnet. Reson. of Sys. Biol., Univ. Bordeaux Segalen
- 1D-13 N-89/N-251 によるマンスン住血吸虫シストソミュラの酸性オルガネラへの影響
○山邊 将史¹、熊谷 貴¹、下河原 理江子¹、Emmanuel Blay A.¹、市村 浩一郎²、金 惠淑³、太
田 伸生¹
¹東京医科歯科大学・院・国際環境寄生虫病学分野、²順天堂大学・医・解剖学、³岡山大学・院・
国際感染症制御学
- 1D-14 Efficacy and drug action mechanism of Artesunate and a Synthetic Endoperoxide
Compound N-89, against adult stage *Schistosoma mansoni*
○Blay Emmanuel A.¹、山邊 将史^{1,2}、下河原 理江子¹、日野 明紀菜¹、金 惠淑²、熊谷 貴¹、
太田 伸生¹
¹東京医科歯科大学・院・国際環境寄生虫病学分野、²岡山大学・院・国際感染症制御学
- 1D-15 *Echinococcus multilocularis* ミトコンドリアの呼吸鎖を標的にした創薬
○遠海 重裕¹、稲岡 ダニエル 健¹、坂元 君年²、入江 隆夫³、孝口 裕一³、八木 欣平³、齋本 博之⁴、
北 潔¹
¹東大院・医・生物医化学、²弘前大・農生・分生、³北海道衛生研・医動物、⁴鳥取大院・工・
化学・生物応用工学

大会第2日目 3月20日(日)

A会場 (1F オブライトホール)

感染機構・寄生適応：寄生虫生活環と分子生物学 I

9:00~9:48

座長 石野 智子 (愛媛大・PROS・寄生病原体)

2A-01 ベネズエラ糞線虫における寄生関連遺伝子ファミリーの機能分化

○丸山 治彦¹、前田 安信¹、Mondal Shakhinur¹、長安 英治¹、日野 明紀菜²、菊地 泰生¹
¹宮崎大・医・寄生虫、²東医歯大・医・国際環境寄生虫

2A-02 フタトゲチマダニ体内における *Babesia ovata* 移行動態について

○前田 大輝^{1,2}、八田 岳士³、坪川 大悟³、三上 房子³、松林 誠⁴、三好 猛晴⁵、白藤-梅宮 梨可⁶、
大久保 和洋⁶、五十嵐 郁男⁶、望月 雅美^{1,2}、藤崎 幸蔵⁷、辻 尚利³、田仲 哲也^{1,2}
¹鹿児島大・共同獣医・感染症、²山口大院連獣、³北里大・医・寄生虫、⁴大阪府大・生命環境・
獣医国際防疫学、⁵農研機構・動衛研、⁶帯畜大・原虫研、⁷全農家衛研

2A-03 フタトゲチマダニ単為生殖系(岡山株)の発育胚および雌ダニにおける細菌叢解析

○白藤-梅宮 梨可¹、中村 昇太²、元岡 大祐²、按田 瑞恵²、飯田 哲也²、堀井 俊宏²、三原 涼¹、
藤崎 幸蔵³、井上 昇¹、鈴木 宏志¹
¹帯畜大・原虫研、²阪大・微研、³全農家衛研

2A-04 *kmo* 遺伝子欠損ハマダラカ系統におけるマラリア感染性

○山本 大介¹、炭谷 めぐみ²、畠山 正統³、松岡 裕之¹
¹自治医大・感染免疫・医動物学、²生物研・組換えカイコ、³生物研・昆虫科学

感染機構・寄生適応：寄生虫生活環と分子生物学 II

9:55~10:31

座長 津久井 久美子 (感染研・寄生動物)

2A-05 熱帯マラリア原虫ガメトサイト内リン脂質・中性脂質プロファイルの解析

田中 健^{Q2}、徳岡 涼美¹、中谷 大地²、河津 信一郎²、浜野 文三江¹、北 潔³、清水 孝雄^{1,4}、
○徳舩 富由樹¹
¹東大・医・院・リポミクス、²帯広畜産大・原虫研セ、³東大・医・院・生物医化、⁴国立・
国際医療研セ・脂質シグナリング

2A-06 *Plasmodium falciparum* ガメトサイト形成に伴って特異的に発現される分子の網羅的解析

○朝日 博子¹、救仁郷 圭祐²、竹田 美香³、矢幡 一英³、井上 信一¹、新倉 保¹、Tantular Indah S.⁴、
Kawamoto Fumihiko⁴、中澤 秀介³、小林 富美恵¹、金子 修³、鈴木 穰²
¹杏林大・医・寄生虫、²東京大・新領域創成科学、³長崎大・熱研・原虫、⁴Inst. of Trop. Dis.,
Fac. of Med., Airlangga Univ., Indonesia

2A-07 Inositol 1,4,5-trisphosphate receptor determines intracellular Ca²⁺ concentration in *Trypanosoma cruzi* throughout its life cycle

○橋本 宗明¹、戸井 基道²、呉林-国広 なごみ³、古川 功治²、茂木-平訳 浩子¹、近江谷 克裕²、
櫻井 隆³、美田 敏宏¹、御子柴 克彦^{4,5}、奈良 武司¹
¹順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学、²産総研・バイオメディカル研究部門、³順天堂大・
医・薬理学、⁴理研・脳センター・発生神経生物研究チーム、⁵科学技術振興機構・ICORP-
SORST、カルシウム振動プロジェクト

感染機構・寄生適応：病原性メカニズム

10:40~11:52

座長 加藤 健太郎（長崎大・熱研・寄生虫）

2A-08 Establishment of a murine model of malarial retinopathy

○Xue Feng¹, Kenji Hikosaka¹, Kexin Li¹, Tetsuo Sato¹, Hiroyuki Matsuoka², Kazumi Norose¹
¹Dept. of Host Defense, Grad. Sch. Med., Chiba Univ., ²Div. Med. Zool., Jichi Med. Univ.

2A-09 多包虫は宿主の補体活性を阻害する -多包虫セリンプロテアーゼインヒビターのはたらき-

○佐々木 瑞希、迫 康仁
旭川医大・医・寄生虫

2A-10 赤痢アメーバにおけるリソソーム酵素輸送受容体遺伝子発現抑制株の表現型解析

○丸茂 このみ^{1,2}、野崎 智義^{1,2}、津久井 久美子¹
¹感染研・寄生動物、²筑波大・院・生命環境科学

2A-11 *Toxoplasma gondii*感染白血球の血流内および標的臓器内での挙動

○馬場 みなみ、鬼頭 克也、高島 康弘
岐阜大・応生・獣医寄生虫

2A-12 トキソプラズマにおけるIP₃受容体の探索

○松原 立真^{1,2}、佐倉 孝哉¹、福本 隼平^{1,2}、田原 美智留¹、山岸 潤也³、永宗 喜三郎^{1,4}
¹国立感染研・寄生動物、²筑波大・院・生命環境科学、³北海道大・人獣共通感染症リサーチセンター、⁴筑波大・生命環境

2A-13 トキソプラズマの宿主オルガネラリクルート機構の解明に向けて

○福本 隼平^{1,2}、佐倉 孝哉¹、永宗 喜三郎^{1,2}
¹国立感染症研究所、²筑波大学・院・生命環境科学研究科

感染機構・寄生適応：タンパク質の機能

13:40~14:16

座長 中西 雅之（松山大・薬・生化）

2A-14 分泌型シトクロムb₅の寄生線虫類における分布

○高宮 信三郎^{1,2}、橋本 宗明¹、山崎 浩^{1,2}、美田 敏宏¹
¹順天堂大・院医・生体防御寄生虫学、²感染研・寄生動物

2A-15 ベネズエラ糞線虫が有するロンギスタチン様分子の性状

○坪川 大悟¹、八田 岳士¹、前田 大輝^{1,2}、三上 房子¹、菊地 泰生³、丸山 治彦³、辻 尚利¹
¹北里大・医・寄生虫、²山口大・院・連獣、³宮崎大・医・寄生虫

2A-16 新規伝搬阻止ワクチン候補PyGM75の抗原決定領域の決定

○橋 真由美^{1,2}、鳥居 本美^{1,2}、須藤 萌²、坪井 敬文³
¹愛媛大・PROS・寄生虫、²愛媛大院・医・分子寄生虫、³愛媛大・PROS・マラリア研究

感染機構・寄生適応：薬剤耐性

14:16~14:40

座長 牧内 貴志（東海大・医・基礎医・生体防御）

2A-17 ミューテーターマラリア原虫ライブラリーから薬剤耐性原虫の単離

○平井 誠、池田 美恵、橋 真一郎、美田 敏宏
順天堂大学医学部・熱帯医学寄生虫病学

2A-18 マラリア原虫の遺伝子点変異によるアトバコン耐性獲得様式の解明

○彦坂 健児¹、本間 一²、松崎 素道³、野呂瀬 一美¹、北 潔^{3,4}
¹千葉大院・医・感染生体防御学、²東京女子医大・医・熱帯医学、³東大院・医・生物医化学、⁴長崎大院・熱帯医学・グローバルヘルス

感染機構・寄生適応：組織シストと分化

14:50~15:38

座長 高島 英造 (愛媛大・PROS・マラリア)

2A-19 クルーズトリパノソーマに「休眠現象」は存在するのか？

○奈良 武司¹、平沢 浩子¹、角田 宗一郎²、細谷 英里奈¹、三井 颯太¹、美田 敏宏¹

¹順天堂大・院医・生体防御寄生虫学、²順天堂大・院医・研究基盤セ・形態解析イメージング

2A-20 Glycogen Metabolism in *Toxoplasma gondii*: Storage, Regulation, and Effects on Parasite Growth

○杉 達紀^{1,2}、Ma Yanfen²、Tomita Tadakimi²、Yakubu Rama²、Han Bing²、Tu Vincent²、加藤 健太郎¹、河津 信一郎¹、Weiss Louis²

¹帯畜大・原虫病研究センター、²Dept. Pathology, Albert Einstein College of Med.

2A-21 Analysis of the Role of *Toxoplasma gondii* Lactate dehydrogenase during stage conversion using Knockout techniques.

○Abdelbaset Abdelbaset、五十嵐 慎

帯広畜産大学原虫病研究センター

2A-22 トキソプラズマのシスト形成に寄与する因子の探索

○村田 優穂、高野 量、五十嵐 慎、加藤 健太郎

帯畜大・原虫病研究センター

感染機構・寄生適応：寄生虫と「オルガネラ生物学」

15:50~16:50

座長 橋本 宗明 (順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病)

2A-23 寄生性アメーバにおけるオルガネラの種内及び種間移植実験

○風間 真¹、萩原 早苗²、牧内 貴志¹、橋 裕司¹

¹東海大・医・基礎医・生体防御、²東海大・生命科学統合支援センター

2A-24 赤痢アメーバ“マイトソーム”のPAPS輸送体の同定

○見市 文香¹、野澤 彰²、吉田 裕樹¹、戸澤 譲³、野崎 智義^{4,5}

¹佐賀大・医・分子生命科学・免疫学、²愛媛大・プロテオサイエンスセンター・生体分子工学、³埼玉大・大学院・理工学・戦略的・グリーン環境領域、⁴国立感染症研究所・寄生動物部、⁵筑波大・大学院・生命環境科学研究科

2A-25 赤痢アメーバの特殊化ミトコンドリアにおける分裂機構の解析

○牧内 貴志¹、Santos Herbert J.^{2,3}、野崎 智義^{2,3}、橋 裕司¹

¹東海大・医・基礎医・生体防御、²感染所・寄生動物部、³筑波大・院・生命環境

2A-26 熱帯熱マラリア原虫のプラスチドゲノムがコードするCipCの解析

○佐藤 恵春¹、三塚 綾音²、北 潔^{1,2}、矢幡 一英³、金子 修³、小椋 光⁴

¹長崎大・TMGH、²東大・院医・生物医化学、³長崎大・熱研・原虫学、⁴熊本大・発生医研・分子細胞制御

2A-27 貝類寄生虫パーキンサスにおけるミトコンドリアDNAの存在様式

○松崎 素道¹、坂本 寛和¹、畑 昌幸¹、増田 功^{1,2}、北 潔^{1,3}

¹東京大・院医・生物医化学、²Dept. of Biochem. & Mol. Biol., Thomas Jefferson Univ.、³長崎大・熱帯医学・グローバルヘルス

B会場 (4F ギャラリー 1)

疾病対策：ワクチン I (マラリア)

9:00~10:00

座長 新倉 保 (杏林大・医・感染症)

- 2B-01 Development of *Plasmodium falciparum* exflagellation assay
○三浦 憲豊¹、Deng Bingbing¹、Zhou Luwen¹、石野 智子²、坪井 敬文³、Long Carole¹
¹Lab Malaria Vector Res, NIAID, NIH、²愛媛大・プロテオサイエンスセンター・寄生病原体、³愛媛大・プロテオサイエンスセンター・マラリア研究
- 2B-02 Antibody response against the *Anopheles* salivary gland protein reflects *Plasmodium falciparum* infection during the rainy season in Indonesia
○伊従 光洋¹、藤吉 里紗¹、Syafruddin Din²、吉田 栄人¹
¹金沢大・薬・ワクチン、²エイクマン研究所・インドネシア
- 2B-03 熱帯熱マラリア赤血球期ワクチン候補分子PfRh5とRiprの直接的結合部位の生化学的同定
○長岡 ひかる、高島 英造、坪井 敬文
愛媛大・PROS・マラリア研究部門
- 2B-04 Potential role of serine protease PfSUB3 for *Plasmodium falciparum* parasite
○Alam Asrar¹、Chauhan Virander S²、Yoshida Shigetō¹
¹金沢大・薬・ワクチン免疫科学、²Malaria Research Group, ICGEB, New Delhi, India
- 2B-05 マラリアワクチンBK-SE36/CpGの医師主導型第I相臨床試験
○堀井 俊宏¹、江副 幸子²、石井 健³、パラクパック ニリアン¹、山本 紘司²、五味 康行⁴、吉井 洋紀⁴、佐藤 秀昭⁵、名井 陽²
¹阪大・微研・分子原虫学、²大阪大学・附属病院・未来医療センター、³医薬基盤研、⁴(財)人阪大微生物病研究会、⁵(株)ジーンデザイン

疾病対策：ワクチン II (その他)

10:00~10:36

座長 大槻 均 (鳥取大・医・医動物)

- 2B-06 Evaluation of the C-terminal fragment of *Entamoeba histolytica* Gal/GalNAc lectin intermediate subunit as a vaccine candidate
○程 訓佳^{1,2}、Min Xiangyang²、馮 萌^{1,2}、Guan Yue²、Man Suqin²、付 永鋒^{1,2}、橘 裕司¹
¹東海大・医・基礎医・生体防御、²復旦大・医・病原生物
- 2B-07 Profilin is a common antigen among Babesia parasites and its immunogenicity and protective properties against human babesiosis
○ツェルンドルジ ムンフジャルガル^{1,2}、横山 直明¹、五十嵐 郁男¹
¹帯広畜産大学原虫病研究センター、²モンゴル獣医学研究所
- 2B-08 Expression level analysis of antigens in oncosphere and early stage metacystode from *Echinococcus multilocularis*
○Huang Fuqiang¹、八木 欣平²、孝口 裕一²、入江 隆夫²、鈴木 穰³、堀内 映実³、金 京純¹、党 志勝⁴、奥 祐三郎¹
¹鳥取大・農・寄生虫、²北海道立衛生研究所、³東大・創成科学・情報生命、⁴中国疾病予防控制中心・寄生虫病予防控制所

10:45~11:57

座長 原 樹 (久留米大・医・感染医学・真核微生物)

2B-09 ラオス南部チャンパサック県において、LAMP法を用いた糞便からのメコン住血吸虫／タイ肝吸虫の検出

○熊谷 貴^{1,2}、石上 盛敏^{2,3,4}、山邊 将史^{1,2}、Khattignavong Phonepadith^{2,4}、Lorphacan Lavy^{2,4}、Soundala Pheovaly^{2,4}、Hongvanthong Bouasy^{2,5}、太田 伸生¹、Brey Paul T.^{2,4}、狩野 繁之^{2,3,4}

¹医科歯科大・院・国際環境寄生虫病、²SATREPS Project (JICA/AMED) for Parasitic Diseases、³国立国際医療研究センター・研究所、⁴Institut Pasteur du Laos、⁵Center for Malariology, Parasitology and Entomology

2B-10 環境DNA手法を用いたタイ肝吸虫 *Opisthorchis viverrini* の環境水中からの検出

○橋爪 裕宜¹、サトウ 恵²、Sato Otake Marcello³、Tippayarat Yoonuan⁴、Surapol Sanguankiat⁴、Tiengkham Pongvongsa⁵、門司 和彦⁶、源 利文¹

¹神戸大・人間発達、²新潟大・医・保健、³獨協医科大・医学、⁴Fac. of Trop. Med., Mahidol Univ.、⁵Savannakhet Provincial Malaria Station、⁶長崎大・国際健康開発

2B-11 Clinical and Molecular confirmation of *Echinococcus vogeli* in Tocantins State - Brazil, and its potential risks for travelers

○サトウ オオタケ マルセロ^{1,2}、Coutinho Itagores H. I. L. S.²、サトウ 恵³、Figueiredo Benta N. S.²、Pinheiro Sandra M. B.²、千種 雄一¹

¹獨協医大・熱帯病寄生虫病、²School of Med., Fed. Univ. Tocantins, Palmas-TO, Brazil、³新潟大・医・大学院保健学研究科

2B-12 Serological prevalence of bovine babesiosis in Western Java, Indonesia

○グスワント アジルワン^{1,2}、横山 直明¹、五十嵐 郁男¹

¹帯広畜産大学原虫病研究センター、²Balai Veteriner Subang, Subang-41212, Jawa Barat, Indonesia

2B-13 ラオスのタイ肝吸虫症：胆管癌の高リスクグループ発見のための尿検査

○伊藤 誠¹、サトウ 恵²、Tiengkham Pongvongsa³、Tippayarat Yoonuan⁴、Surapol Sanguankiat⁴、Jitra Waikagul⁴、長岡 史晃¹、Sato Otake Marcello⁵、門司 和彦⁶

¹愛知医科大学医学部感染・免疫、²新潟大学大学院保健学研究科、³Savannakhet Provincial Health Dept., Savannakhet, Lao PDR、⁴Dept. Helminthol., Fac. Trop. Med., Mahidol Univ.、⁵獨協医科大学・熱帯病寄生虫病学教室、⁶長崎大学大学院熱帯医学・グローバルヘルス研究科

2B-14 Serological comparison of recombinant antigens for the diagnosis of human schistosomiasis

○Angeles Jose Ma¹、後藤 康之²、Leonardo Lydia³、Moendeg Kharleezelle¹、Rivera Pilarita³、Villacorte Elena³、桐木 雅史⁴、菅沼 啓輔¹、井上 昇¹、千種 雄一⁴、河津 信一郎¹

¹原虫研、帯畜大、²応用免疫、東大、³Department of Parasitology, College of Public Health, University of the Philippines、⁴熱帯病寄生虫病、獨協医科大

疾病対策：検査法の開発 I

13:40~14:52

座長 八木田 健司 (感染研・寄生動物)

2B-15 犬の糞便内エキノコックスDNAの抽出方法の検討

○入江 隆夫、伊東 拓也、孝口 裕一、山野 公明、浦口 宏二、八木 欣平
北海道立衛研・感染症・医動物

2B-16 *Opisthorchis viverrini*感染者の糞便を使用した遺伝子検査への検体処理方法の検討

○サトウ 恵¹、Sato Otake Marcello²、Tippayarat Yoonuan³、Surapol Sanguankiat³、Jitra Waikagul³、Tiengkham Pongvongsa⁴、門司 和彦⁵、狩野 繁之⁶
¹新潟大・大学院・保健、²獨協医・医・熱帯病寄生虫病、³マヒドン大・熱帯医学・蠕虫、⁴サバナケット州マラリアセンター、⁵長崎大・大学院・熱帯医学・グローバルヘルス研究科、⁶国立国際医療研究センター研究所熱帯医学・マラリア研究部

2B-17 活動性トキソプラズマ症診断に向けたダイテスト(色素試験)改良の試み

○保科 斉生^{1,2}、青沼 宏佳¹、堀野 哲也²、堀 誠治²、嘉糠 洋陸¹
¹慈恵医大・医・熱帯医学、²慈恵医大・医・感染制御部

2B-18 LED光源を用いた、改良AO染色法によるマラリア迅速診断

○木村 政継¹、寺本 勲²、チムW チャン³、川本 文彦⁴、朝田 良子⁵、金子 明^{2,3}
¹大阪市大・院医・RI、²大阪市大・院医・寄生虫、³カロリンスカ研究所、⁴大分大・医・国際保健、⁵大阪物療大学

2B-19 ヘマトクリット遠心法を用いた *Trypanosoma cruzi* 検出感度の検討

○アベニド エレオノア フンダン^{1,2}、チェリフ マハモド サマ¹、柳 哲雄³、平山 謙二¹
¹長崎大学熱帯医学研究所 宿主病態解析部門 免疫遺伝学分野、²Department of Immunology, Research Institute for Tropical Medicine, Department of Health, Philippines、³バイオリソースセンター(熱研生物資源室 NBRC)

2B-20 摘脾犬に自然発生した *Babesia odocoilei* 様原虫による犬バベシア症の1例

○山崎 真大、額田 優花、内田 直宏、小林 沙織、佐藤 れえ子、安田 準
岩手大・農・小動物内科

疾病対策：検査法の開発 II

15:00~16:12

座長 長安 英治 (宮崎大・医・寄生虫)

2B-21 簡便なフィラリア症疫学調査のためのELISAプレート作成法の検討

○長岡 史晃、高木 秀和、伊藤 誠
愛知医大・医・感染・免疫

2B-22 内臓リーシュマニア症診断法の開発：尿中抗原の検出

○高木 秀和^{1,3}、東城 文柄^{2,3}、野入 英世^{2,3}、伊藤 誠^{1,3}
¹愛知医大・医・感染・免疫、²東大・医・附属病院・腎臓・内分泌内科、³地球規模課題対応国際科学技術協力

2B-23 ジアルジアおよびクリプトスポリジウム同時検査用イムノクロマトキットの開発

○八木田 健司¹、泉山 信司¹、宮崎 誠生²
¹国立感染研・寄生動物、²アーク リソース株式会社

2B-24 蛍光シリカナノ粒子を用いたイムノクロマト法による赤痢アメーバ症迅速血清診断法の開発

○橘 裕司¹、福嶋 将行²、垣野 あずみ¹、風間 真¹、牧内 貴志¹、馮 萌^{1,3}、三好 一富²、増田 剛太⁴、大久保 典雄²、程 訓佳^{1,3}
¹東海大・医・基礎医・生体防御、²古河電工・先端技術研、³復旦大・医・病原生物、⁴都立駒込病院・感染症

- 2B-25 汎用的な細胞凍結保存液を用いた *Babesia gibsoni* 原虫凍結保存法の検討およびその改良
 ○草木迫 浩大^{1,2}、正谷 達膳³、屋田 友里花¹、Talactac Melbourne R.^{1,2}、Hernandez Emmanuel P.¹、
 前田 大輝^{1,2}、望月 雅美^{1,2}、田仲 哲也^{1,2}
¹鹿児島大・共同獣医・感染症、²山口大・連獣、³鹿児島大・共同獣医・TAD
- 2B-26 永久寄生虫卵標本作製の試み
 ○佐藤 千歳¹、鈴木 真紀子²、石井 明³
¹岡崎市民病院・臨床検査、²静医科学・臨床検査、³浜松医大・感染症学

C会場 (4F ギャラリー2)

分類・進化・生活史・生態・疫学：疫学(原虫類) I

9:00~9:48

座長 松本 芳嗣 (東大・院農・応用免疫)

- 2C-01 髄膜脳炎を惹起する *Balamuthia mandrillaris* の青森県土壌からの検出・分離
 ○山内 可南子¹、有馬 弘晃²、葛西 宏介¹、伊藤 巧一²、稲葉 孝志¹
¹弘前大学・院・保・病態解析、²弘前大学・院・保・生体機能
- 2C-02 ブラストシスチス属の人獣共通感染性、インドネシア・スンバ島住民とその家畜から分離された株について
 ○吉川 尚男¹、所 正治²、ディン シャフルディン³
¹奈良女大・理・生物、²金沢大・院医・寄生虫、³エイクマン研究所・インドネシア
- 2C-03 Characterization of culture-isolated *Retortamonas* spp. collected in Sumba Island, Indonesia
 ○Tukimin Joko H.¹、荒山 駿介¹、永元 健啓¹、Syafruddin Din²、所 正治¹
¹金沢大学・院医・寄生虫感染症制御学、²Eijkman Inst., Mol. Biol., Indonesia
- 2C-04 エジプトの異なる農場における主要な原虫病の血清疫学調査
 ○Fereig Ragab¹、Al-Saied Samy²、Mahmoud Hassan²、Abou-Leila Mahmoud²、Guswanto Azirwan¹、Thuy Nguyen¹、Mohamed Adel²、井上 昇¹、五十嵐 郁男¹、西川 義文¹
¹帯畜大・原虫研、²サウスバレー大・獣医

分類・進化・生活史・生態・疫学：疫学(原虫類) II

9:48~10:24

座長 三森 龍之 (熊本大・院・生命科学研究)

- 2C-05 Molecular Survey of Bovine Piroplasms in Myanmar
 ○Saw Bawm^{1,2}、Lat Lat Htun²、Ryo Nakao¹、Hiroto Kato¹、Ken Katakura¹
¹Laboratory of Parasitology, Graduate School of Veterinary Medicine, Hokkaido University,
²Department of Pharmacology and Parasitology, University of Veterinary Science, Yezin, Nay Pyi Taw, Myanmar
- 2C-06 Molecular epidemiology of American tegumentary leishmaniasis cases from northwest Argentina
 ○Juan J. Lauthier¹、Carlos Hoyos^{2,3}、Silvana P. Cajal²、Paola A. Barroso³、Fabricio M. Locatelli¹、Yoshihisa Hashiguchi⁴、Julio R. Nasser²、Jorge D. Marco³、Masataka Korenaga¹
¹Dept. of Parasitol., Kochi Med. Sch., Kochi Univ., Japan., ²IJET, Sede Regional Oran, UNSa, Argentina., ³IPE, UNSa/CONICET, Argentina., ⁴Centro de Biomedicina, Universidad Central del Ecuador.

- 2C-07 南米アンデス地域に生息するサシチョウバエ *Lutzomyia ayacuchensis* の種内遺伝子多型解析
○加藤 大智¹、カセレス アブラハム²、ゴメス エドアルド³、三森 龍之⁴、上里 博⁵、片倉 賢¹、橋口 義久^{6,7}
¹北海道大・獣医・寄生虫、²ペルー・熱帯医学研究所、³エクアドル・カトリカ大・熱帯医学、⁴熊本大・生命科学・生体情報解析学、⁵琉球大・医・皮膚科学、⁶エクアドル中央大・生物医学センター、⁷高知大・医・寄生虫学

分類・進化・生活史・生態・疫学：疫学(マラリア)

10:35~11:11

座長 川合 覚 (独協医大・熱帯病寄生虫病)

- 2C-08 Mass drug administration targets high prevalence of asymptomatic and submicroscopic malaria infections in the Lake Victoria region of Kenya
○金子 明^{1,2,3}、Md Idris Zulkarnain²、Chan Chim W²、五十棲 理恵¹、寺本 勲¹、木村 政継¹、Kongere James³、Gitaka Jesse⁴、Logedi John⁵、Omar Ahmedeen⁵
¹大阪市大院・医・寄生虫、²カロリンスカ研究所、³長崎大学熱帯医学研究所/ケニア中央医学研究所、⁴マウント・ケニア大学、⁵ケニア・保健省
- 2C-09 ベトナム中南部におけるアルテミシニン耐性熱帯熱マラリア原虫の検出とその伝播
○前野 芳正¹、Cullenton Richard²、Quang Nguuyen T.³、川合 覚⁴、Marchand Ron P.³、中澤 秀介⁵
¹藤田保健衛生大・医・ウイルス・寄生虫、²長崎大・熱帯研・マラリアユニット、³Khanh Phu Malaria Research Unit・MCNV、⁴獨協医大・熱帯病寄生虫病、⁵長崎大・熱帯研・原虫
- 2C-10 全世界の熱帯熱マラリア原虫株を用いたアルテミシニン耐性進化の集団遺伝学的解析
○橘 真一郎、平井 誠、美田 敏宏
順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病学

分類・進化・生活史・生態・疫学：疫学(その他)

11:11~11:59

座長 佐藤 宏 (山口大・共獣医・寄生虫)

- 2C-11 静岡県産アユに寄生するメタゴニムス属吸虫メタセルカリアの40年以上に亘る感染動態
○記野 秀人¹、井林 伸之²、大澤 和子²、倉島 友子²、永田 美智²、西村 文一²、佐藤 恭子²、武田 恵²、野崎 綾²、米山 実香²、北條 圀生²
¹浜松医大・感染症学、²(公財)静岡県予防医学協会
- 2C-12 カンボジアにおけるタイ肝吸虫症：ある湖沼地域周辺に集中する流行地域の例
○宮本 和子¹、松田 肇²、桐木 雅史²、千種 雄一²、Sinuon Muth³
¹山梨大・医・看護、²獨協医大・医・熱帯病寄生虫病学、³国立マラリアセンター・カンボジア保健省
- 2C-13 Seroprevalence, environmental and behavioral risk factors of *Toxocara canis* infection among women in Swaziland, Southern Africa
○Chia-Kwung Fan^{1,2}、Ying-Hsieh Huang¹、Chia-Mei Chou¹、Chien-Wei Liao¹、Yu-Luen Lee³、Yin-Chin Wang¹、Toshio Naito^{4,5}、Akiko Tsubouchi⁶、Takeshi Nara⁷
¹Dept. of Mol. Parasitol. and Trop. Dis., Sch. of Med., Col. of Med., Taipei Med. Univ., Taiwan, ²Center for Int. Trop. Med., Sch. of Med., Col. of Med., Taipei Med. Univ., Taiwan, ³Dept. of Microbiol. and Immunol., Sch. of Med., Col. of Med., Taipei Med. Univ., Taiwan, ⁴Dept. of Gen. Med., Juntendo Univ. Sch. of Med., ⁵Dept. of Inf. Contr. Sci., Juntendo Univ. Sch. of Med., ⁶Res. Sup. Ctr., Juntendo Univ. Sch. of Med., ⁷Dept. of Mol. Cell. Parasitol., Juntendo Univ. Grad. Sch. Med.

- 2C-14 A survey of gastrointestinal parasites in farm dogs in Tibetan nomadic area
○Feng Kai¹, Li Wei², Guo Zhihong², Tong Yanjun³, Tie Cheng³, E Rijie³, Horii Yoichiro¹, Nonaka Nariaki¹
¹宮崎大学 医学獣医学総合研究科 獣医寄生虫病学研究室、²Zoonosis Laboratory, Qinghai University, China、³Veterinary office in Xinghai county, Qinghai province, China

分類・進化・生活史・生態・疫学：吸虫類

- 13:40~14:28 座長 杉山 広 (感染研・寄生動物)
- 2C-15 ミニゲルを用いたHeteroduplex mobility assayによる肺吸虫種の鑑別
○八尋 眞一郎¹、波部 重久²
¹シグマクリニック、²福岡大・医・微生物免疫
- 2C-16 Complex domestication event of final hosts renders multiple origin of South Asian *Explanatum explanatum*, liver amphistomes of ruminants
○Mohanta Uday K.^{1,2}、Devoka Bhuminand³、Rana Hari B.⁴、板垣 匡^{1,2}
¹岩手大学農学部獣医寄生虫学研究室、²岐阜大学大学院連合獣医学研究科、³Centre for Biotechnology, Agriculture and Forestry University, Rampur, Chitwan, Nepal、⁴Institute of Agriculture and Animal Science, Tribhuvan University, Chitwan, Nepal
- 2C-17 ナイジェリア産*Fasciola gigantica*の分子学的解析
○関 まどか¹、渡嘉敷 美波¹、Opara Maxwell N.²、Iroh Gabriel²、林 慶¹、Mohanta Uday K.¹、正力 拓也¹、板垣 匡¹
¹岩手大・農・獣医寄生虫、²University of Ibadan
- 2C-18 日本における槍形吸虫*Dicrocoelium chinensis*の分子系統解析
○林 慶^{1,2}、鳳 麻衣子¹、唐 文強¹、松尾 加代子³、佐藤 宏⁴、板垣 匡^{1,2}
¹岩手大・農・獣医寄生虫、²岐阜大院・連合獣医、³岐阜県食肉衛生検査所、⁴山口大・獣医寄生虫

分類・進化・生活史・生態・疫学：条虫類

- 14:40~15:40 座長 奥 祐三郎 (鳥取大・農・寄生虫)
- 2C-19 北海道のエキノコックス症媒介動物対策
○八木 欣平¹、奥 祐三郎²、浦口 宏二¹、孝口 裕一¹、山野 公明¹、入江 隆夫¹、野中 成晃³、福本 真一郎⁴、森嶋 康之⁵、小林 文夫⁶、神谷 正男^{4,6}、吉川 泰弘⁷
¹北海道衛研、²鳥取大学、³宮崎大学、⁴酪農学園大学、⁵国立感染症研究所、⁶環境動物フォーラム、⁷千葉科学大学
- 2C-20 非流行地におけるエキノコックス症動物疫学調査の問題点
○森嶋 康之¹、杉山 広¹、山崎 浩¹、八木 欣平²、福本 真一郎³
¹感染研・寄生動物、²道衛研・感染症、³酪農学園大・獣医寄生虫
- 2C-21 北海道の建物内での感染が示唆されたドブネズミ多包虫症例について
○福本 真一郎¹、山田 清太郎¹、豊田 章一郎¹、西川 友貴¹、伏木田 真人¹、樋口 豪紀¹、植田 弘美¹、上野 弘志¹、森嶋 康之²、杉山 広²
¹酪農学園大学・獣医、²感染研・寄生動物
- 2C-22 Molecular evidence for the invalidity of *Diphyllbothrium yonagoense* as a species
○山崎 浩¹、熊沢 秀雄²、齊藤 典子³、森嶋 康之¹、杉山 広¹
¹国立感染研・寄生動物、²高知大・医・寄生虫、³国立感染研・電顕

2C-23 バリ島およびニューギニア島における有鉤条虫の遺伝的多様性とその起源

○柳田 哲矢¹、Swastika Kadek²、Dharmawan Noman S.³、Wandra Toni⁵、佐藤 宏¹、迫 康仁⁴、伊藤 亮⁴、岡本 宗裕⁶

¹山口大・獣・寄生虫、²ウダヤナ大学・医・寄生虫、³ウダヤナ大学・獣・寄生虫、⁴旭医大・医・寄生虫、⁵Directorate of Postgraduate, Sari Mutiara Indonesia Univ.、⁶京大・霊長研

分類・進化・生活史・生態・疫学：マダニと病原体

15:50~16:50

座長 角坂 照貴 (愛知医大・寄生虫)

2C-24 兵庫県捕獲マダニについてのバベシア属原虫感染調査

○大森 志保¹、長野 基子¹、斎藤 あつ子²

¹兵庫医療大・薬・微生物、²神戸大院・医・原虫寄生虫

2C-25 鹿児島県各地で採取されたマダニにおける *Theileria*, *Babesia* 及び *Hepatozoon* の分子疫学

○正谷 達膳¹、林 慶²、立野 守洋¹、遠藤 泰之¹、松尾 智英¹、田仲 哲也¹、御供田 睦代³、関まどか²、安藤 匡子¹

¹鹿児島大・共同獣医学部、²岩手大学 獣医寄生虫学、³鹿児島県環境保健センター

2C-26 ヒトバベシア症発生病台湾 (高尾県) のヒトバベシア症疫学調査結果続報

○斎藤 あつ子^{1,2}、河合 敦子¹、大森 志保¹、長野 基子¹、蔡 季君³、陳 彦旭³、余 明隆⁴、陳 榮霖⁵

¹兵庫医療大・薬・微生物、²神戸大・医・寄生虫学、³高雄医学大・感染・内、⁴高雄医学大・肝胆・内、⁵高雄医学大・寄生虫学

2C-27 超高速遺伝子解析技術によるマダニ保有微生物の探索

○中尾 亮^{1,2}、邱 永晋²、木下 豪太¹、Thu May J.²、阿部 貴志³、片倉 賢¹、杉本 千尋²

¹北大・獣・寄生虫、²北大・人獣セ、³新潟大・工・情報工

2C-28 ケニア産コイタマダニ *Rhipicephalus decoloratus* における β アドレナリン様オクトパミン受容体遺伝子の SNP タイピング

○八田 岳士^{1,6}、Muinde Martin D.²、Oluga Aboge G.³、Odongo David O.^{3,4}、竹中 昭雄⁵、Ngethe Esther W.²、辻 尚利¹

¹北里大・医・寄生虫、²DD-Tick cont., Dept. of Vet. Services, Vet. Res. Lab., Nairobi, KENYA、³Univ. of Nairobi, Nairobi, KENYA、⁴Int. Livestock Res. Inst., Nairobi, KENYA、⁵(国研) 生物研・動物科学、⁶(国研) 農研機構・動衛研

D会場 (4F 大会議室)

宿主応答・病態：腸管応答

9:00~10:00

座長 下川 周子 (群馬大・院医・国際寄生虫病)

2D-01 小形条虫感染における免疫防御機構

○渡邊 直熙¹、石渡 賢治²、池田 愛²、浅野 和仁³

¹慈恵医大・アレルギー、²慈恵医大・熱帯医学、³昭和医大・生理

2D-02 アニサキス感作ラットにおいて同幼虫ホモジネートの経口投与後に特異抗体反応を増強する可能性があるアニサキス抗原分画

○阿部 仁一郎¹、寺本 勲²

¹大阪市環科研・微生物保健、²大阪市大・医・寄生虫

- 2D-03 トリトリコモナスの宿主マウスの腸管プロテオームに及ぼす影響
 ○柏木 明子¹、黒崎 創²、駱 鴻^{3,4}、柴原 壽行⁵
¹鳥取大学・生命機能研究支援センター・動物資源開発分野、²鳥取大学・大学院・医学系研究科・機能再生医科学専攻・生体機能医工学講座、³鳥取大学・医学部・健康政策医学健康政策医学分野、⁴河北医科大学、⁵千葉科学大学・危機管理学部・動物危機管理学科
- 2D-04 *Plasmodium berghei*感染によるBALB/cとC57BL/6マウスに共通した致死性腸管病態の検討
 ○島田 瑞穂¹、廣瀬 芳江²、清水 和彦²、山本 大介¹、早川 枝李¹、松岡 裕之¹
¹自治医大・医動物、²足利赤十字病院・検査部・病理
- 2D-05 ネズミマラリア原虫感染により腸内細菌バランス失調が起こる
 ○谷口 委代^{1,2}、宮内 栄治³、中村 昇太⁴、平井 誠⁶、鈴江 一友¹、今井 孝¹、岡田 絃子¹、下川 周子¹、大西 里咲¹、Olia Alex¹、大野 博司³、堀井 俊宏⁵、久枝 一¹
¹群大・院医・国際寄生虫病学、²群大・院医・医学教育センター、³理研・統合生命医科学研究センター、⁴阪大・微研・遺伝情報実験センター、⁵阪大・微研・分子原虫学、⁶順天堂大・医・熱帯医学寄生虫病

宿主応答・病態：宿主応答変調

- 10:05~11:05 座長 井上 信一 (杏林大・医・感染症)
- 2D-06 *Trypanosoma cruzi*感染は宿主オートファジー経路のオートファゴソーム形成過程を抑制する
 ○新城 翔子¹、植松 亜美¹、瀬戸 絵理²、鬼塚 陽子¹、嶋田 淳子¹
¹群馬大・保・生体情報検査科学、²群馬大・医・分子予防医学
- 2D-07 オートファジーアダプター分子p62はインターフェロン γ 誘導性のトキソプラズマの寄生胞抗原の提示に特異的に関与する
 ○山本 雅裕^{1,2}、李 栄愛¹、笹井 美和^{1,2}、馬 知秀²、伴戸 博徳¹、坂口 直哉¹
¹阪大・微研・感染病態、²阪大・免フロ・免疫寄生虫学
- 2D-08 The infectivity of rodent malaria parasite gametocytes is affected by *Schistosoma mansoni* infection
 ○森保 妙子¹、中村 梨沙¹、米村 悠²、赤松 摩紀²、濱野 真二郎¹、Culleton Richard²
¹長崎大・熱研・寄生虫、²長大・熱研・マラリア室
- 2D-09 慢性感染する消化管寄生虫に対する急性感染免疫応答の影響
 ○石渡 賢治
 慈恵医大・熱帯医学
- 2D-10 宿主免疫機構を抑制する旋毛虫分泌分子Tp53の機能解析
 ○呉 志良、長野 功、Srinontong Piyarat、浅野 一信、前川 洋一
 岐阜大・医・寄生虫

宿主応答・病態：宿主定着性

- 11:10~11:58 座長 安田 好文 (兵庫医大・免疫)
- 2D-11 遺伝的背景の異なる広東住血線虫分離株感染における非好適宿主脳内虫体の崩壊過程の比較
 ○赤尾 信明¹、石井 美里²、太田 伸生¹
¹医科歯科大・院・国際環境寄生虫病、²文京学院大・保健医療学部・臨床検査
- 2D-12 重度免疫不全(X-scid)ラットにおける縮小糸虫の動態
 ○大野 民生¹、甲斐 巧也¹、前川 智樹¹、石井 明²、記野 秀人²
¹名大・院医・実験動物、²浜松医大・感染症学

- 2D-13 赤痢アメーバのマウス腸管定着を規定する遺伝子領域の解析
 ○中村 梨沙¹、Sharmina Deloer¹、見市 文香²、下川 周子³、千馬 正敬⁴、吉田 裕樹²、濱野 真二郎¹
¹長崎大・熱研・寄生虫、²佐賀大・医・分子生命科学講座・免疫、³群馬大・院医・国際寄生虫病、⁴長崎大・熱研・病理

- 2D-14 ビーグル犬を用いた *Leishmania donovani* 感染モデルの構築
 ○紺野 紘矢、中尾 亮、加藤 大智、片倉 賢
 北海道大・獣医・寄生虫

宿主応答・病態：病態形成

13:40~14:52 座長 長田 良雄 (産業医大・医・免疫寄生虫)

- 2D-15 トキソプラズマ慢性感染マウスにおける原虫再活性化によるうつ様症状の発現
 Mahmoud Motamed、猪原 史成、Fereig Ragab、西村 麻紀、○西川 義文
 帯畜大・原虫研
- 2D-16 実験的内臓型リーシュマニア症における血球貪食
 ○森本 彩子¹、大間知 聡子¹、長田 康孝¹、チェンバース ジェームズ²、内田 和幸²、三條場 千寿¹、松本 芳嗣¹、後藤 康之¹
¹東大・院農・応用免疫、²東大・院農・獣医病理
- 2D-17 Restriction of anti-*Leishmania* immunity by secreted immunoglobulin in murine visceral leishmaniasis
 ○Srinontong Piyarat¹、呉 志良¹、長岡 仁²、前川 洋一¹
¹岐阜大・院医・寄生虫、²岐阜大・院医・分子病態
- 2D-18 慢性シャーガス病患者の末梢血原虫血症は性別および MICA 遺伝子多型により制御される
 ○平山 謙二¹、バスケス クララ¹、デルプエルト フロレンシア²、菊池 三穂子¹、ルソマンド グラシエーラ²、ロベイロ ジミー³、アリアス アナマリア³、マファイエ ロキサーナ³、アビラス シンチア³、ロカ ジェリン³、ローラ ジャビエル³、西沢 エイキ⁴、グティエレス フレディ⁵
¹長崎大・熱研・免疫遺伝、²パラグアイ国アスンシオン大学・健康科学研究所・分子生物、³ボリビア国熱帯病研究センター・分子生物免疫、⁴ボリビア国サンタクルース市シラニクリ ニック、⁵ボリビア国日本病院・外科
- 2D-19 Myeloid-related protein (MRP) によるローデントマラリア脾腫の増悪
 ○溝渕 悠代、磯川 笙子、山越 祥子、三條場 千寿、松本 芳嗣、後藤 康之
 東大・院農・応用免疫
- 2D-20 テレメトリーシステムによる実験的サルマラリアの経過観察
 ○川合 覚¹、サトウ-オオタケ マルセロ¹、案浦 健²、荒木 球沙²
¹獨協医大・熱帯病寄生虫病学、²感染研、寄生動物

宿主応答・病態：マラリア免疫

15:00~16:00 座長 Cevayir Coban (阪大・IFRec・マラリア免疫)
 前川 洋一 (岐阜大・院医・寄生虫)

- 2D-21 Differentiated gene profile of neutrophils induced by phagocytosis of *Plasmodium falciparum*-parasitized erythrocytes
 ○Mohamad A. Terkawi, Ryo Takano, Fumi Murakoshi, Kentaro Kato
 National Research Center for Protozoan Diseases, Obihiro University of Agriculture and Veterinary Medicine

- 2D-22 Protection against the liver stage of malaria infection by CD8 T cell-mediated immunity
 ○アキバリ マスード¹、木村 一美¹、木村 大輔¹、都田 真奈¹、油田 正夫²、Amino Rogerio³、由井 克之¹
¹Div. Immunol., Dept. Mol. Microbiol. Immunol., Grad Sch Biomed Sci., Nagasaki Univ., ²Dept., Med. Zoology, Sch Med., Mie Univ., ³Dept., Parasitolo. Mycolo., Pasteur Inst., France.
- 2D-23 マラリア原虫感染防御において樹状細胞を活性化させるV γ 1+ γ δ T細胞
 ○井上 信一、新倉 保、朝日 博子、小林 富美恵
 杏林大・医・感染症
- 2D-24 代謝調節薬を利用したマラリア原虫感染に対する防御免疫機構の解明
 ○都田 真奈¹、Bayarsaikhan Ganchimeg¹、木村 大輔¹、Akbari Masoud¹、木村 一美¹、鵜殿 平一郎²、由井 克之¹
¹長崎大・院・医歯薬・感染免疫学・免疫学、²岡山大・院・医歯薬・腫瘍制御学・免疫学
- 2D-25 *Plasmodium berghei* ANKA 赤内型感染におけるCD8T免疫応答の解析
 ○小野 岳史、山口 陽子、宮平 靖
 防衛医大・国際感染症

宿主応答・病態：サイトカイン

- 16:05~16:53 座長 小林 隆志 (大分大・医・感染予防医学)
- 2D-26 マラリア原虫感染におけるIL-27依存的な免疫記憶抑制
 ○木村 大輔¹、都田 真奈¹、Akbari Masoud¹、井手 宏二¹、木村 一美¹、原 博満²、吉田 裕樹³、由井 克之¹
¹長崎大・院医歯薬・免疫、²鹿児島大・院医歯薬・免疫、³佐賀大・医・分子生命科学・生体機能制御学
- 2D-27 ヒト細胞におけるIFN γ 依存的な抗トキソプラズマ応答にはIDO2ではなくIDO1が重要な役割を果たす
 ○伴戸 寛徳¹、笹井 美和^{1,2}、李 英愛¹、馬 知秀²、坂口 直哉¹、山本 雅裕^{1,2}
¹阪大・微研・感染病態、²阪大・免フロ・免疫寄生虫学
- 2D-28 Roles of IL-17 in amebiasis
 ○Sharmina Deloer^{1,2}、Risa Nakamura¹、Mihoko Kikuchi³、Shinjiro Hamano¹
¹Department of Parasitology, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN), Nagasaki University, ²Graduate School of Biomedical Science, Nagasaki University, ³Department of Immunogenetics, Institute of Tropical Medicine (NEKKEN), Nagasaki University
- 2D-29 STAT6やIL-10の欠損が住血吸虫による抗関節炎作用に及ぼす影響
 ○長田 良雄、金澤 保
 産業医大・医・免疫学寄生虫学

